

家族介護教室を開催

問 福祉介護課 ☎84-0316

7月28日(木)、あじさいの郷理学療法士の高橋氏を招き、介護技術の講習会を行いました。腰への負担を軽減しながら、立ち座りを介助する方法を学びました。参加者は「具体的で介護者の軽減に役立つ内容でした」と好評でした。



3年ぶりの防災訓練

問 防災安全課 ☎84-0326

9月4日(日)、開成町防災訓練を3年ぶりに開催しました。町、消防団、自治防災会、文命中学校の生徒が連携し、放水訓練や発電機取扱い訓練、指定避難所開設などを行いました。いつ発生するか分からない災害について、改めて考える一日になりました。



地域支援協定を締結

問 防災安全課 ☎84-0326

8月8日(月)、株式会社ジェイコム湘南・神奈川 西湘局と、災害時における地域支援の協力に関する協定を新たに締結しました。この協定により、災害時に車両や物資等を提供していただけるほか、人的支援を受けられるようになります。

開成町初！女性消防団員入団

問 防災安全課 ☎84-0326

町で初めての女性消防団員が入団しました。救急救命士を目指し、専門学校に通う府川菜波さん。スキルアップと地域のために活動したいという思いから入団したそうです。「安心感を与え、地域の皆さんに寄り添えるような消防団員になれるよう頑張ります！」と意気込みを語っていました。



芸術の秋!

開成町で陶芸にチャレンジ



秋真っ盛り!秋と言えば、食欲に行楽、スポーツの秋...そして、**芸術の秋!**ということで、特派員の石塚さんと武藤さん親子とで陶芸体験をしに、吉田島高校の前にある「工房手土手」を訪ねました。

手だけで形を作り出す「手捻り」に挑戦!

どんな形でも作り出せる「手捻り」に挑戦中の石塚特派員。



ちぎって丸めて張り付けて...

顔を描いて...



そしてできたのは...?



陶芸は原材料が土と水だから、どんなものでも作り出せるのです。物作りは自分の創造力との対話。夢中になってあだこだと自分との対話を楽しんだプチ芸術の一日でした。

...ということで、本日はここまで。この後に、乾燥や色付けなどの工程があります。果たしてどんなあじさいちゃんになるのか?お楽しみご~!

to be continued... ?

取材後記

「陶芸工房手土手」は、吉田島高校正門の前にある陶芸工房。陶芸を通じた大切なコミュニケーションの場にもなっています。安部さんの作品は、瀬戸屋敷のカフェ hacco でも使われています。



問 企画政策課 ☎84-0312

手のひらや指を全集中!「ろくろ」に挑戦!

コップにお皿。ちょっとした動きが形を作り出していきます。



「意心になって手の感覚に委ねてください」

あべくにこ 工房の安部邦子さんの指導のもと、みるみるうちに器が姿を現します。

黙々と取り組む武藤さん親子...



体験した2人は口をそろえて「難しいけど楽しい!!」と言っていました。

そのとおり!難しいから楽しいんだよね。



左から工房の鈴木さん・安部さん、武藤さん親子と一緒に

「自分で作った器で秋の味覚をもっと味わいたいなあ。おっと、ついでに大きめのおちょこも作ろうかな...」なんて作りながら、つい考えてしまいました(笑) まちづくり情報特派員 石塚 敦